

仕事のストレス発散に注目した
勝沼の観光資源の訴求方法の検討
ー観光客を対象としたサーベイ調査にもとづく提言ー

日本旅行総研／
山梨学院大学現代ビジネス学部日高優一郎ゼミナール

目次

I .探索的リサーチ

II .仮説の提示

III .データ分析

IV .訴求方法の提案

I .探索的リサーチ

👉1.本調査の課題

👉2.調査方法

👉3.発見事項の整理



I. 探索的リサーチ

本調査の課題

勝沼の観光資源の魅力を高めるには
なにが必要か!?

1. 課題を見つける

2. その課題の解決方法を見つける

I. 探索的リサーチ

1. インタビュー調査

- 勝沼を訪れていた観光客
- 白百合醸造の販売員さん
- 新田商店店主 新田正明氏

2. 現地フィールド調査

- ルミエール直営レストランzelkova
- 原茂ワイナリー2Fカフェ Casa da Noma
- 大日影トンネル ○ ハーブ庭園旅日記
- 葡萄工房ワイングラス館 ○ その他

3. ディスカッション

- 勝沼の観光資源とその可能性について
- どのような時に旅行に行きたい気持ちが生まれるのか

I. 探索的リサーチ

発見1.

(インタビュー調査・フィールド調査より)

勝沼には、さまざまな観光資源が眠っている
特に、
「ワイン／ぶどう」は再生率が高い観光資源

その一方で、
現地に来ないとその魅力が伝わりにくい

各資源の訴求方法を検討することで
魅力を高めることにつながるのではないか!?

I. 探索的リサーチ

発見2. (インタビュー調査より)

日頃の仕事のストレスが旅行の動機になっている
しかも、
ストレスの種類ごとに、魅力の感じ方が異なる可能性

たとえば、
「寝たのに疲れがとれない」 → 「リラックス要素」を求める
「プライベートの時間が殆どない」 → 「リフレッシュ要素」を求める
「食事をコンビニ等で済ませる」 → 「アクティビティ要素」を求める
など

日頃の仕事のストレスと魅力的にみえる観光資源の関連を
明らかにすることで訴求方法が見えてくるのでは!?

I. 探索的リサーチ

日頃の仕事のストレス

×

勝沼の魅力的な観光資源



勝沼の観光資源の魅力を高める

訴求方法を考える

Ⅱ. 仮説の提示と検証

☞ 1. 仮説

☞ 2. 分析枠組み

■ 2-1 分析枠組み

■ 2-2 質問項目

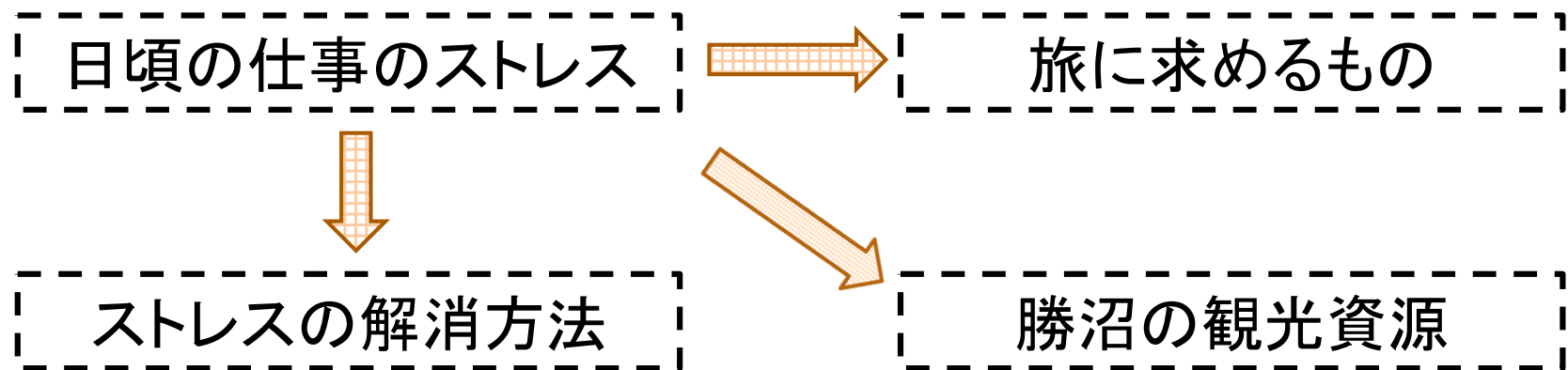
☞ 3. 調査概要



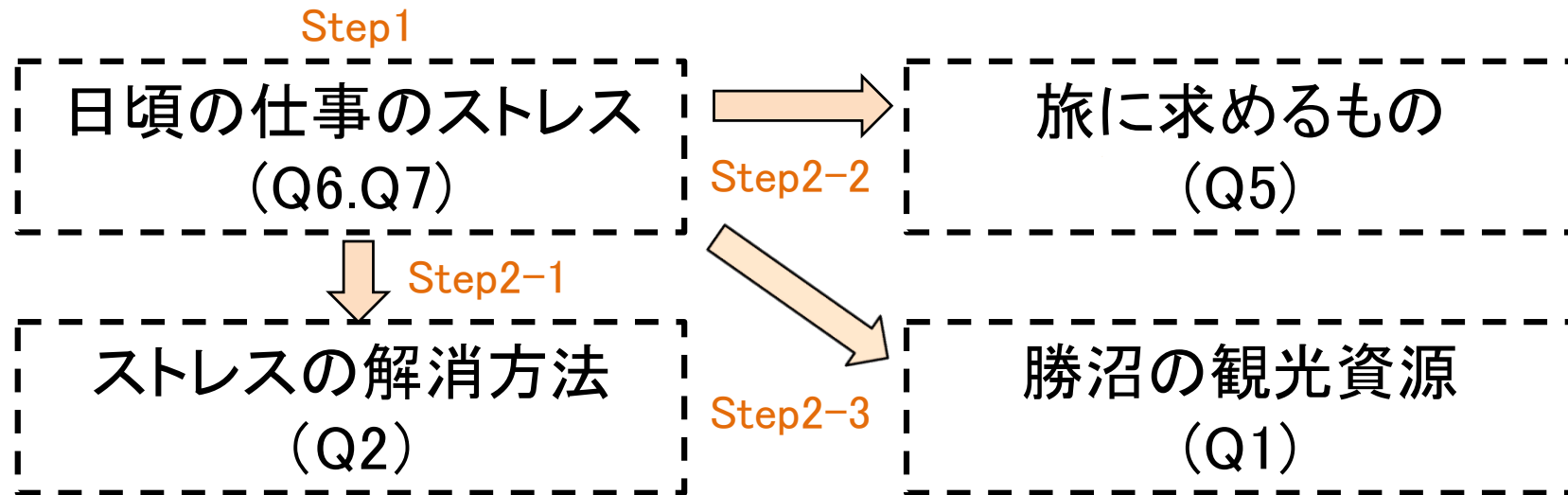
Ⅱ. 仮説の提示と検証

仮説

日頃のストレスの違いでストレスの解消方法は異なり、
旅に求めるもの・勝沼の観光資源で魅力的に思えるものは異なる



Ⅱ. 仮説の提示と検証：分析枠組み



STEP1 日頃のストレスを種類ごとにグループ分け (因子分析)

STEP2-1 ストレス(Q6.Q7)ごとのストレスの解消方法(Q2)の違い (相関分析)

STEP2-2 " 旅に求めるもの(Q5)の違い (")

STEP2-3 " 魅力的な勝沼の観光資源(Q1)の違い (")

Ⅱ. 仮説の提示と検証：質問項目

本アンケートは、「ストレス」と「観光資源」についての意識調査になります。

それでは始めに勝沼について質問をします。

以下の質問に対して、該当する番号に一つ○をつけてください。

<1>

性別 1 男性 2 女性

年齢 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代以上

あなたは勝沼に訪れたことがありますか？

1 はい 2 いいえ

<2>

Q1 勝沼には次のような魅力があります。

以下の項目についてどのくらい魅力的だと思いますか？

	魅力的でない←				→魅力的だ
	1	2	3	4	5
1 自然観光	1	2	3	4	5
2 ワイン(お土産など)	1	2	3	4	5
3 桃とブドウが有名	1	2	3	4	5
4 水がおいしい	1	2	3	4	5
5 ワイナリーが密集している	1	2	3	4	5
6 温泉が近くにある	1	2	3	4	5
7 静か	1	2	3	4	5
8 暑さで有名	1	2	3	4	5
9 ワイン会をやっている	1	2	3	4	5
10 ほうとう	1	2	3	4	5
11 登山・ハイキング	1	2	3	4	5
12 夜景がきれい	1	2	3	4	5
13 祭り・イベント	1	2	3	4	5
14 ブドウ畑の景色	1	2	3	4	5
15 BBQ	1	2	3	4	5

Q2 以下の項目からあなたのストレス解消方法に当てはまるものを選んで下さい。

	全くしない←				→よくやる
	1	2	3	4	5
1 旅行(遠出・人のいない場所など)に行く	1	2	3	4	5
2 おいしいものを食べに行く	1	2	3	4	5
3 岩盤浴・マッサージ・アロマ等でリフレッシュ	1	2	3	4	5
4 自宅でのんびり(睡眠・TV・DVD鑑賞など)	1	2	3	4	5
5 お酒を飲む	1	2	3	4	5
6 お金を思いっきり使う(大人買いなど)	1	2	3	4	5
7 趣味に費やす	1	2	3	4	5
8 友人と近場に出かける	1	2	3	4	5

Q3 あなたが勝沼に行きたいと思う気持ちはどのくらいですか？

魅力的ではない← 1 2 3 4 5 →魅力的だ

Q4 一泊の国内旅行において一人当りに使っても良いと思う予算はいくらですか？(自由回答)

Q5 あなたが旅行に求めるものを、以下の項目から選んでください。

	求めない←				→求める
	1	2	3	4	5
1 地元の文化に触れる	1	2	3	4	5
2 有名観光地	1	2	3	4	5
3 その土地の物を食べたい	1	2	3	4	5
4 特産品	1	2	3	4	5
5 自然観光に触れる	1	2	3	4	5
6 地域の人と交流	1	2	3	4	5
7 体験ツアー	1	2	3	4	5
8 リラックス	1	2	3	4	5
9 お金を使いたい	1	2	3	4	5
10 現実逃避	1	2	3	4	5
11 気軽に行ける	1	2	3	4	5
12 思い出作り	1	2	3	4	5
13 プライベートが保てる	1	2	3	4	5
14 わいわい出来る	1	2	3	4	5
15 知識・教養を増やす	1	2	3	4	5

<3>

Q6 以下の項目であなたの考える実際よくある忙しさとはどのような時ですか？

	全くない←				→よくある
	1	2	3	4	5
1 スケジュールがいっぱい	1	2	3	4	5
2 プライベートの時間が取れない	1	2	3	4	5
3 友人と予定が合わない	1	2	3	4	5
4 食事をコンビニやファストフードで済ませる	1	2	3	4	5
5 体型の変化を感じた	1	2	3	4	5
6 1日中時間を気にしている	1	2	3	4	5
7 少しでも自分の時間を確保しようとする	1	2	3	4	5
8 やる事が多くてやる事を忘れる	1	2	3	4	5
9 冷蔵庫が空っぽ	1	2	3	4	5
10 歯磨き粉と洗顔剤を間違える	1	2	3	4	5
11 一度頭の中をリセットしたい	1	2	3	4	5

Q7 以下の項目であなたが疲れたと感じる要因を選んでください。

	全くない←				→よくある
	1	2	3	4	5
1 帰宅してベットやソファに倒れこんだ	1	2	3	4	5
2 長時間のデスクワーク	1	2	3	4	5
3 長時間の運転・移動	1	2	3	4	5
4 栄養ドリンクを購入	1	2	3	4	5
5 上司に付き合わされた	1	2	3	4	5
6 仕事終わりの満員電車	1	2	3	4	5
7 気づいたら寝てたり・乗り過ごしていた	1	2	3	4	5
8 スイーツを食べたくなる	1	2	3	4	5
9 早く寝たのに疲れが取れない	1	2	3	4	5
10 朝起きて出勤準備中に休みと気付く	1	2	3	4	5
11 帰ってすぐに寝る準備をする	1	2	3	4	5

Q8 あなたは休日どのように過ごしますか？ 当てはまる番号に5つに○をして下さい。

1	買い物	9	カラオケ
2	ゆっくり食事	10	映画鑑賞
3	ゲーム	11	デート
4	スポーツ・ジム	12	何もしない
5	外食	13	勉強
6	料理・お菓子作り	14	自分磨き
7	ドライブ	15	飲み
8	スポーツ観戦	16	その他

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

Ⅱ.仮説の提示と検証:質問項目

Q6.Q7→日頃の仕事のストレス

探索的リサーチの結果を参考に
旅行に関係があると考える項目を22種類挙げました。

Q2 →ストレスの解消方法

各種雑誌資料・探索的リサーチの結果を参考に
ストレスの解消方法を8種類挙げました。

Q5 → 旅に求めるもの

既存の旅行に関するアンケート・探索的リサーチの結果を参考に
勝沼の観光資源に関係があると考える項目を15種類挙げました。

Q1 → 魅力に感じる観光資源

勝沼のパンフレットや観光HP・探索的リサーチの結果を参考に
観光資源を15種類挙げました。

調査概要

対象者

勝沼を訪れていた
20～40代の観光客

収集期間

2013年11月23日(土)

有効回答数

116/116枚

回答者の属性

男性: 49人
女性: 67人

20代: 47人
30代: 34人
40代: 35人

収集方法

街頭調査
勝沼ぶどう郷駅／ぶどうの丘／ハーブ庭園

勝沼に感じる魅力の程度
平均: 3.59
(7点尺度)

Ⅲ. データ分析

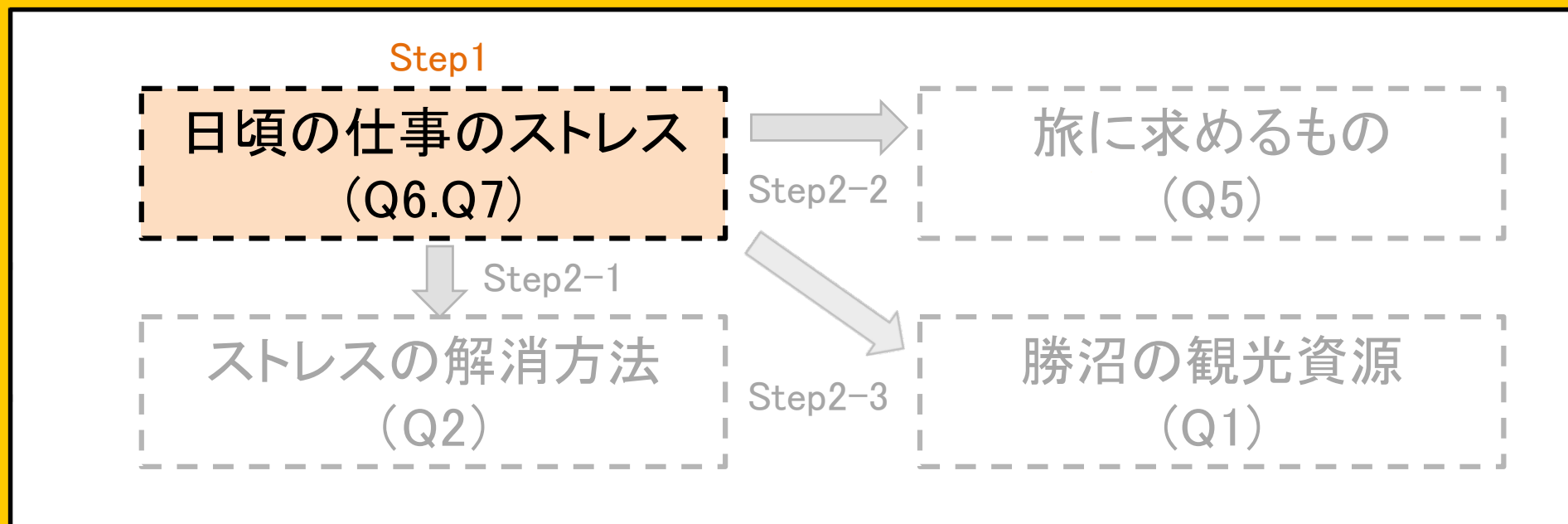
☞ 1. 明らかにしたいこと

☞ 2. 分析結果

- STEP1 日頃のストレスを種類ごとにグループ分け
- STEP2-1 各ストレスの種類ごとのストレス解消方法の傾向
- STEP2-2 // 旅に求めるものの傾向
- STEP2-3 // 魅力に感じる勝沼の観光資源の傾向



Step1:明らかにしたいこと



STEP1 日頃の仕事のストレスをもとにグループ分け (因子分析)

STEP2-1 ストレス(Q6.Q7)ごとのストレスの解消方法(Q2)の違い (相関分析)

STEP2-2 " 旅に求めるもの(Q5)の違い (")

STEP2-3 " 魅力的な勝沼の観光資源(Q1)の違い (")

Step1

日頃の仕事のストレスをもとにグループ分け

	因子		
	1	2	3
Q79 寝たのに疲れがとれない	.647	.133	.066
Q71 帰宅して倒れ込む	.640	.174	.133
Q77 気づいたら寝ていた	.585	.203	.092
Q611 一度頭の中をリセットしたい	.545	.146	.194
Q711 帰ってすぐ寝る準備をする	.490	.071	.165
Q75 上司に付き合わされる	.475	.066	.088
Q78 スイーツを食べたくなる	.381	-.043	.097
Q62 プライベートの時間がとれない	.226	.974	-.007
Q61 スケジュールがいっぱい	.059	.533	.515
Q63 友人と予定が合わない	.075	.532	.192
Q65 体型の変化を感じる	.112	.092	.558
Q72 長時間のデスクワーク	.334	-.047	.420
Q66 1日中時間を気にしている	.121	.276	.333
Q64 食事をコンビニ等で済ませる	.165	.213	.300

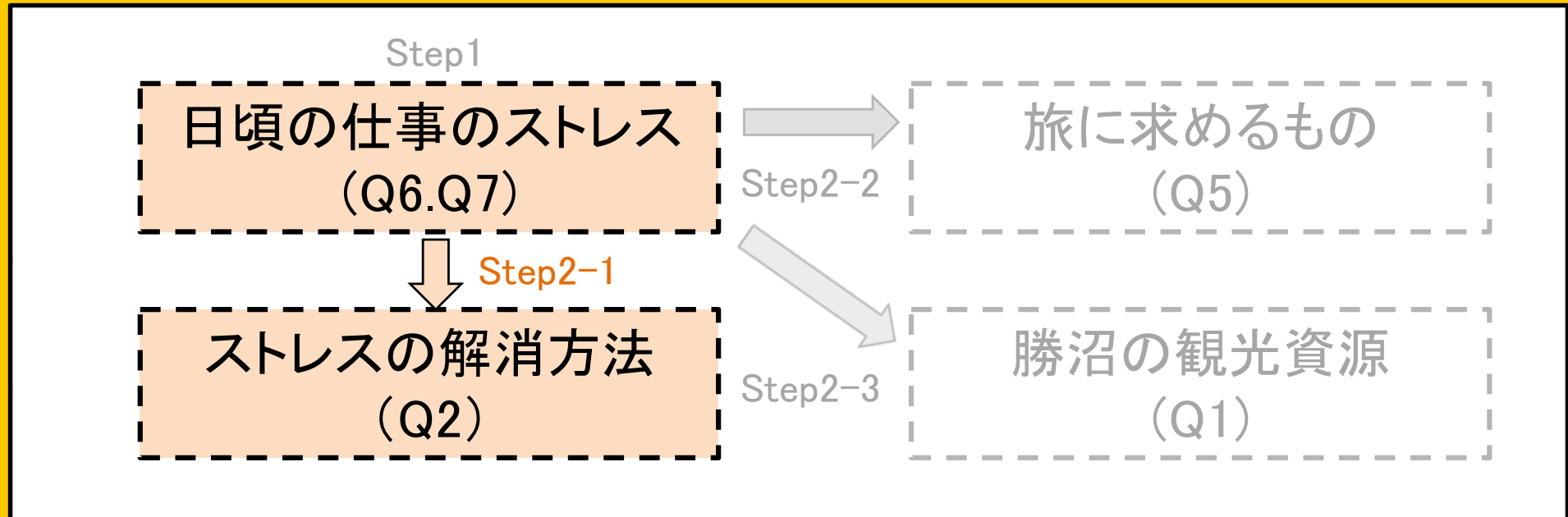
『肉体的疲労』型

『スケジュール切迫』型

『生活リズム悪化』型

※結果の解釈の妥当性を高めるため、一部の変数を除外して分析

Step2-1:明らかにしたいこと



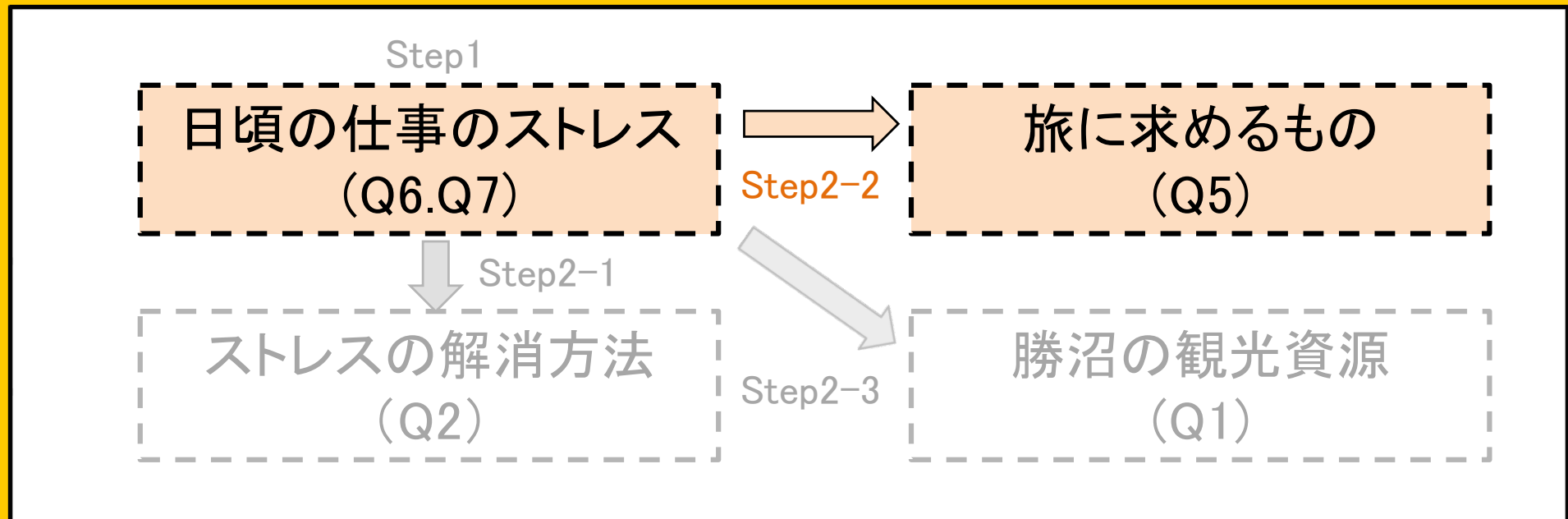
STEP1 日頃の仕事のストレスをもとにグループ分け (因子分析)

STEP2-1 ストレス(Q6.Q7)ごとのストレスの解消方法(Q2)の違い (相関分析)

STEP2-2 // 旅に求めるもの(Q5)の違い (//)

STEP2-3 // 魅力的な勝沼の観光資源(Q1)の違い (//)

Step2-2:明らかにしたいこと



STEP1	日頃の仕事のストレスをもとにグループ分け	(因子分析)
-------	----------------------	--------

STEP2-1	ストレス(Q6.Q7)ごとのストレスの解消方法(Q2)の違い	(相関分析)
---------	--------------------------------	--------

STEP2-2	ストレス(Q6.Q7)ごとの旅に求めるもの(Q5)の違い	(")
---------	------------------------------	-------

STEP2-3	"	魅力的な勝沼の観光資源(Q1)の違い (")
---------	---	--------------------------

Step2-1

各ストレスごとの解消方法の傾向

	肉体的疲労	スケジュール切迫	生活リズム悪化
旅行に出かける			
おいしいものを食べる	○		
岩盤浴			○
自宅でのんびり			
お酒を飲む			○
お金を思いっきり使う	○		○
趣味に時間を使う			
友人と近場に出かける			

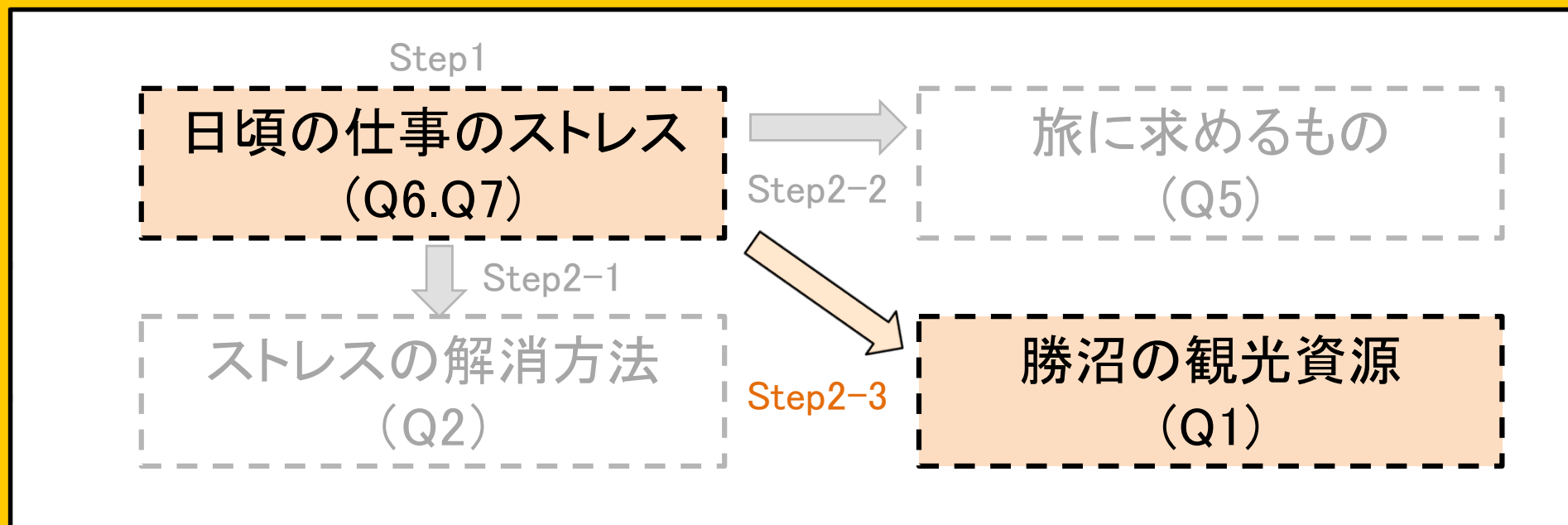
Step2-2

各ストレスごとの旅に求めるものの傾向

	肉体的疲労	スケジュール切迫	生活リズム悪化
地元文化に触れる			○
有名観光地に行く		×	
その土地の食べ物を食べる			○
特産品	○		○
自然観光		○	
地域の人との交流		○	○
体験ツアー		○	○
リラックス	○	○	○
お金を使う		○	○
現実逃避	○		○
気軽に行ける	○		
思い出づくり	○		
プライベートを保てる			
ワイワイできる			○
知識教養を増やす			○

※○は正の相関、×は負の相関を示す

Step2-3:明らかにしたいこと



STEP1 日頃の仕事のストレスをもとにグループ分け (因子分析)

STEP2-1 ストレス(Q6.Q7)ごとのストレスの解消方法(Q2)の違い (相関分析)

STEP2-2 " 旅に求めるもの(Q5)の違い (")

STEP2-3 ストレス(Q6.Q7)ごとの魅力的な勝沼の観光資源(Q1)の違い (")

Step2-3

各ストレスごとの魅力的な勝沼の観光資源

	肉体的疲労	スケジュール切迫	生活リズム悪化
自然観光	○		
ワイン			○
桃とぶどう			
水がおいしい	○		○
ワイナリーが密集	○		○
温泉が近い			
静か			
暑さ			
ワイン会			○
ほうとう			○
登山・ハイキング			
夜景			
イベント			
ぶどう畑の景色	○		○
バーベキュー			○

※○は正の相関を示す

4. 訴求方法の提案

☞ 1. 肉体疲労型

☞ 2. スケジュール切迫型

☞ 3. 生活リズム悪化型

☞ 4. おわりに



1. 肉体疲労型

<ストレスの主な内容>

寝たのに疲れがとれない
気づいたら寝てしまうことがあ
一度頭の中をリセットしたい など

<旅に求めるもの>

特産品
リラックス・現実逃避
気軽に行ける・思い出づくり

<ストレス解消の方法>

おいしいものを食べる
お金を思いっきり使う

<勝沼の観光資源>

自然観光
水がおいしい
ワイナリーが密集
ぶどう畑の景色



1. 肉体疲労型

贅沢な気分で
リラックスしながら
現実逃避できる空間で
(特産のワインを)ゆっくり飲む／食べる／話
す
ことができる

穏やかでゆったりとした空間・雰囲気
を基軸とした観光資源の訴求がポイントになる

原茂ワインCasa da Noma



勝沼のワイナリーが経営するカフェ
ぶどう畑が広がる景色を眺めながら

ビストロ・ミル・プランタン



ぶどう畑に囲まれたビストロ
ワイナリー密集エリアで地元の食材・ワイン

を

ワイナリーレストランZelkova



山梨の特産品を使った料理が絶品！ 雰囲気も◎

2. スケジュール切迫型

＜ストレスの主な内容＞

プライベートの時間がない
スケジュールがいっぱい
友人と予定が合わない

＜旅に求めるもの＞

自然観光
地域の人との交流／体験ツアー
リラックス
お金を使う

＜ストレス解消の方法＞

N/A

＜勝沼の観光資源＞

N/A



2. スケジュール切迫型

日帰りもできる観光地で
体験したり**地元の人と交流**しながら
地域の**自然**を**体感**することで
リラックスする
ことができる

今回の調査からは
勝沼の観光資源との関連性は明らかにできなかったが

人とのふれあい・体感による非日常感の演出

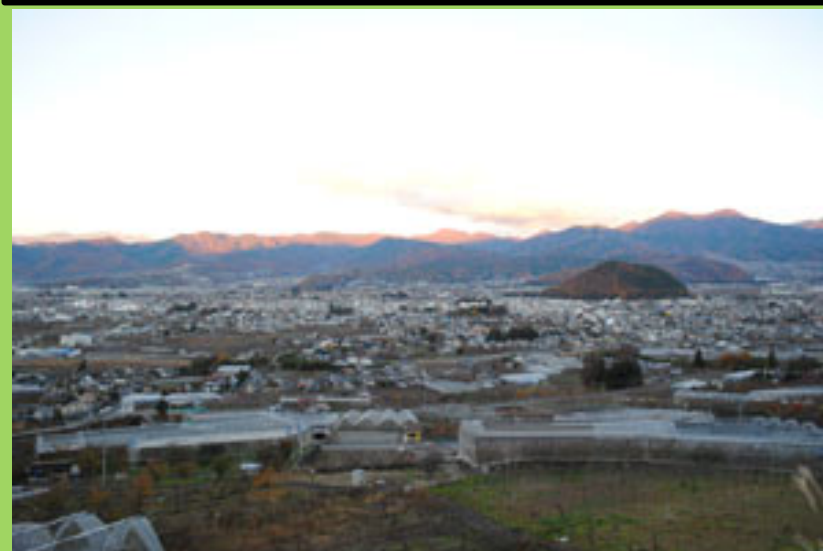
が観光資源の訴求のポイントとなる可能性がある

ワイナリー見学・試飲



ワインの説明を受けながら会話を楽しめる
ワイナリーを見学することで非日常感も高まる

見晴らしの丘



自然を一望できる
自然を体感してリラックス

グレイスワイナリー 「甲州種を知るツアー」

日本固有品種「甲州種」の
可能性を体感できる

ぶどう狩り



体験して地域の自然を体
感

3. 生活リズム悪化型

<ストレスの主な内容>

こここのところ体型の変化を感じる
食事をコンビニなどで済ませてしま
長時間のデスクワーク など

<旅に求めるもの>

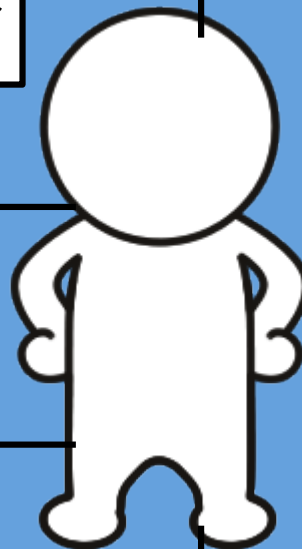
地元の文化に触れる
その土地の食べ物／特産品
地域の人との交流／体験ツアー
リラックス
お金を使う／現実逃避
ワイワイできる／バーベキュー

<ストレス解消の方法>

岩盤浴
お酒を飲む
お金を思いっきり使う

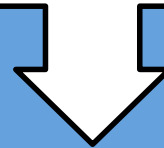
<勝沼の観光資源>

ワイン／ワイン会
ワイナリーが密集／ぶどう畑の景
色
ほうとう／バーベキュー
水がおいしい



3. 生活リズム悪化型

本当はアクティブでいたい自分のために
ぶどう畑の景色の中を**散歩**しながら
ワイナリーをめぐり
ワインの作り手やワイン好きとの**交流**を楽しむこ
とで
その土地の**風土に触れる**
ことができる



勝沼の風土を楽しむ『人の営み』
を基軸とした観光資源の訴求が重要なポイントとな
る

ワインツーリズム



ワイン産地を散策しながら、
ワインだけでなく産地の風土を知ることができる

若い気鋭の醸造家たち

山梨で活躍する醸
造家の活動を知る
(e.g., アサンブラー
ジュ／Team Kisvin)
交流を進めること
で更にアクティブ
になれる

4. おわりに

- ①各ストレスごとに、勝沼の観光資源の訴求方法は異なる
- ②各グループとも概ね「ワイナリーが密集」した「ぶどう畑の景色」

は魅力だと感じる
⇒勝沼ブランドのブランドイメージを構成する重要な要素

「勝沼ブランド」らしさ

ワイナリーが密集した
ぶどう畑の景色

穏やかな雰囲気

体感による非日常演出

地元の人の営み

肉体疲労型

スケジュール切迫型

生活リズム悪化型